

提出 順番	No. 5	平成 29 年 11 月 27 日 午前・午後 10 時 44 分受領
----------	----------	--

平成 29 年 11 月 27 日

幕別町議会議長 芳 滝 仁 様

幕別町議会議員 内山 美穂子



一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1. 歴史の散歩道「黒田温泉跡地」のアカマツの保存について	<p>清流大橋から幕別本町に抜ける札内新道（道道幕別帯広芽室線）の未整備区間で、途別川によって分断されていた 2.7 km が橋梁の新設と 2 車線道路の着手に向けて準備が進んでいると聞いております。しかし予定地の一部、吐月橋から春日橋の区間については町の「歴史の散歩道・黒田温泉跡地」にかかっています。</p> <p>黒田温泉は既に廃業し現在は建物もありませんが、歌人若山牧水が滞在した宿として知られています。この工事に伴い、宿が開業した 1912 年頃にシンボルとして植樹されたアカマツの古木が支障となることが判明しました。住民からは「歴史遺産として保存できないのか」という声があがっています。</p> <p>道道の工事については何ら反対するものではありませんが、アカマツについても町の史跡に登録している牧水ゆかりの黒田温泉跡地や歌碑と同じく歴史文化遺産として保存していくべきと考えます。下記について伺います。</p> <p>① アカマツを保存することについて町の考えと、見通しについて。</p> <p>② 「歴史の散歩道」を今後どう活用していくか。</p> <p>③ 地域のシンボルとして残っている名木や古木の現状と、保存価値のある樹木があれば基準を設けて町</p>

<p>2. 江陵高校の通学路の安全対策について</p>	<p>で指定する考えは。</p> <p>工事が予定されている札内新道と交差する札内高台線の一部は江陵高校生の通学路になっていますが、曲がり坂で歩道幅も狭く、夜は薄暗くて危険といった声を聞きます。</p> <p>今後交差点付近の詳細な設計などが決まっていくと思われませんが、平成 31 年度から新設高校がスタートするにあたって生徒の安全対策が喫緊の課題だと考えます。通学路となる町道について伺います。</p> <p>① 新設高校が始まるまでの整備計画は。</p>
<p>3. 子ども 110 番の家について</p>	<p>子どもを取り巻く環境が変化し大きな事件が後を絶たない中、地域ぐるみで子どもたちを守る「子ども 110 番の家」の制度があります。</p> <p>幕別町でも小学校区ごとに「子ども安全マップ」を作成し、子どもが身の危険を感じた時に駆け込める場所を明記しています。被害を未然に防ぐこうした取組が形骸化されることのないようにと考えますが、以下について伺います。</p> <p>① 設置数や連携状況、子どもへの周知など現状について。</p> <p>② 地域と連携し社会全体で子どもを育む身近な方策の一つとして子ども 110 番の家を機能させていくことが大切ではないか。</p>

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。